

<スタッフ紹介>

役 職	スタッフ名
センター長 兼副病院長兼臨床研修副センター長 兼心臓・血管センター長 兼患者サポートセンター長	船津 俊宏
副センター長 兼臨床工学・技術部門長 兼血液浄化副センター長兼臨床研修指導者 兼泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター	荒川 昌洋

<関連部署>

部署名
臨床工学・技術部門

<特色と概要>

臨床工学・技術センターは、2024年4月に発足した。その本質的な業務は、診療支援局の一部門である臨床工学・技術部門とほぼ同一である。さまざまな医療機器や医療を補助する技術は、医療の現場に深く関わっており、それらの安全で適正な管理運用は、医療の安全と質そのものと言っても過言ではない。このように、病院機能の中で非常に重要な役割を担う臨床工学・技術部門であるため、共同運営部門の一センターとして位置付けられ、発足に至った経緯である。

したがって、発足初年度である今年度の業務実績の詳細については、診療支援局 臨床工学・技術部門の項をご参照いただきたい。概略としては、臨床工学分野では、呼吸関連業務での終夜睡眠ポリグラフィ検査の大幅増加、心臓カテーテル関連、中でもカテーテルアブレーションの大幅な増加、代謝関連では、血液浄化センターおよび集中治療領域での血液浄化件数の高い数字の継続、手術関連では、2023年から開始したロボット手術立ち会いの飛躍的な増加、念願であった TAVI も今年度開始された。また、医療機器管理業務については、シリンジポンプ・輸液ポンプに加え、経腸ポンプ・体外式ペースメーカーの中央管理化を行った。臨床技術分野では、視能訓練士による眼科診療補助や眼科検診の実施、歯科衛生士による院内各部署における歯科口腔診療の補助や口腔ケアを今年度も多数おこなってきた。

このように、院内のさまざまな診療に今年度も大きく関わり、またその件数も軒並み増加傾向にある。来年度の抱負としても、ますます増加が見込まれるこうした医療機器関連業務や医療技術提供場面において、安全性と効率性を維持し病院運営にますますの貢献を果たしたいと考えている。